

公共施設の見直しに係る実施計画（概要版）

施設名	新上五島町民プール (新魚目ふれあいプール)
-----	---------------------------

担当課	生涯学習課
課長	西川義男

1. 施設の現状

新上五島町民プールは、町民の健康、福祉の増進及びスポーツの普及並びにその振興を図ることを目的として、町内6カ所に設置している。そのうち町管理の施設は、「若松愛ランドプール(宿ノ浦郷)」、「新魚目プール(丸尾郷)」、「新魚目ふれあいプール(小串郷)」、「有川プール(有川郷)」、「奈良尾プール(奈良尾郷)」の5施設であり、このほか「西日本スポーツアカデミー」を指定管理者として定め運営している「温水プール(青方郷)」の合計6施設がある。また、町管理プールの運営は、監視員を雇用し、施設の使用期間を定め(6月15日から9月15日)運営している。

(利用状況)

愛ランドプール：使用期間中約1,600人、1日平均17人～18人
(経費内訳：賃金594千円、光熱水費871千円、薬剤費118千円、役務費13千円)
新魚目プール：使用期間中約2,000人、1日平均22人～23人
(経費内訳：賃金811千円、光熱水費708千円、薬剤費239千円、役務費138千円)
有川プール：使用期間中約3,000人、1日平均33人～34人
(経費内訳：賃金844千円、光熱水費550千円、薬剤費160千円、役務費207千円、委託料69千円)

2. 見直しの方針

(1) 計画期間内(H26年度まで)

目標年度	見直し方針
26	統廃合

(2) 将来の方向性

見直し方針

(3) 見直し内容

- ・新魚目地区には、2カ所に町民プールを設置しているが、施設の効率的な運営を図るため、同一地区、原則1箇所とし「新魚目ふれあいプール(小串郷)」は、隣接する海水浴場・新魚目プールの利用を検討し、今後、住民との協議を行い合意が得られれば、H22年度末に休止し最終26年度までに廃止を含めて検討を進める、施設の利用を「新魚目プール(丸尾郷)」に統合する。
- ・「奈良尾プール」は昭和50年に設置されたものであるが、設置後33年を経過し老朽化が激しく、度重なる漏水に伴い、随時、調査しているものの、場所の特定ができず改修できない状況が続いている。また、夏休み期間中の利用者は500人余りと1日平均12～3人の利用しかないため、施設の利用は「若松愛ランドプール(宿ノ浦郷)」に統合することとし、H21年度に休止し、最終26年度までに廃止の方向で検討を進める。

3. 施設運営コスト

(単位：千円、人)

年度	管理運営コスト		人員配置状況(人)				利用状況	
	金額	うち 人件費	正職員	嘱託員	臨時	委託	利用収入	利用者数
19	8,408	3,382	0	0	12	0	493	8,484
見直し後	5,357	2,249	0	0	8	0	365	6,620
効果額	3,051	1,133	0	0	4	0	128	1,864